

第1学年1組 国語科 学習指導案

単元名：きいて きいて わたしの だいすきなおはなし

教材文 おおきなかぶ

男子12名 女子15名 計27名

指導者 入澤 ゆう子

単元について

○ 単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説国語科第1学年及び第2学年、「C読むこと」の指導事項（1）「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」の内容を受けて設定したものである。

本単元では、学習指導要領の「C読むこと」の言語活動例（2）「オ 読んだ本について、好きなところを紹介すること。」を基に、これまでに読んだ本の好きなところをクラスの友だちに紹介する言語活動を位置付ける。

教材文「おおきなかぶ」は、おじいさんが種をまき、大きく育ってなかなか抜けないかぶを人や動物が次々に加わって、力を合わせて最後に抜いて終わる物語である。お話に出てくる登場人物が、おじいさん、おばあさん、まご、いぬ、ねこ、ねずみと大きく強いものから、しだいに小さく弱いものへと変化している。小さな存在であるねずみが加わったことで、かぶが抜けることは児童の興味を大きく引き付ける。児童にとって魅力的なお話であるため、場面の様子や登場人物について想像するのに適した教材であると考えられる。また、「おはなしボックス」を用いて本の好きなところを紹介する活動を通して、互いの思いを分かち合ったり、感じ方や考え方を認め合ったりすることができる。と考える。

○ 児童観

本学年の児童は、読書を好み、教師による読み聞かせを聞くことを楽しみにしており、読み聞かせに静かに耳を傾けて聞き、お話の世界をみんなで共有することができる。しかし、一人で読む「読書タイム」になると図鑑や迷路を選んでいたり、興味を持った挿絵を見ていたり、文を読んでいないと感じることもある。

1年生になって平仮名の学習をし、読み書きができるようになった。「読むこと」に関しては「とんこと とん」で挿絵と結び付けて場面の様子を話し合い、お話の大体の内容を読み取る楽しさを味わった。しかし、行動や会話に着目し、登場人物の気持ちを想像することが難しい児童もいる。そのため、場面の様子について、各場面の様子の変化したり登場人物の行動が変化したりしていくことを把握し、想像を広げながら読む力を付けていくことが必要である。

○ 指導観

指導に当たっては、単元と並行して繰り返しのある絵本や話の展開がおもしろい絵本などを自由に読める環境を整え、様々な絵本を楽しんで読めるようにする。

課題の設定では、今までに読んだ本の読書経験を交流し合い、教師による「とんこと とん」の好きな場面の紹介を聞くことで、意欲を高める。「とんこと とん」の「おはなしボックス」や教材文を通して、好きな場面の登場人物の行動や会話に着目したり、その理由を関連付けたりして紹介していることに気付くようにする。

情報収集の過程では、「おおきなかぶ」の場面の様子について登場人物の行動や会話を中心に様子や気持ちを想像しながら読み進めていく。その際、初読後の自分の好きな場面を紹介する活動を通して、物語の設定や登場人物の関係、出来事を大まかに押さえる。次に、かぶに込めたおじいさん

の願い、会話を想像し、登場人物やかぶを抜く順番などでおもしろいところ、好きなところを話し合うことで、想像を広げながら読み進めていけるようにする。

整理・分析の過程では、今までに読んだ絵本の中から、まず自分の好きな絵本を選び、好きな場面の様子について、登場人物の行動や会話とその理由を整理する。「おはなしボックス」のモデルを示して、「おはなしボックス」の書き方の要素を見付け出させるなど自らの気づきを大切に学習が進められるようにする。

本単元では、自己を理解する力として、「おはなしボックス」を使って本の好きなところを紹介する活動を通して、互いの好きな場面への思い（理由）を分かち合ったり、感じ方や考え方を認め合ったりできるようにする。

単元の目標及び内容について

- 物語に興味を持ち、場面の展開を楽しんで読もうとしている。 【関心・意欲・態度】
- 物語の好きな場面を探しながら読み、その様子を登場人物の行動や会話に着目しながら、想像を広げて読むことができる。 【読むこと ウ】
- 「だれが」「どうした」という主語と述語の関係に注意して読んだり、表現したりすることができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(カ)】

単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
【言語活動】 本の好きなところを紹介する。		
物語に興味をもち、場面の展開を楽しんで読み、紹介しようとしている。	物語の好きな場面を探しながら読み、その様子を登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げて読んでいる。	主語と述語に気を付けながら、文章を読んだり、紹介する文にまとめたりしている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・本の好きなところを紹介するために、事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりして多くの本を選んで読もうとしている。	・本の好きなところを紹介するために、事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりして読もうとしている。
【思考力】	・自分が好きな場面を選んで登場人物の会話に着目し、想像を広げ自分の思いをもって読んでいる。	・自分が好きな場面について登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げている。
【自己理解】	・互いの思いを分かち合ったり、感じ方や考え方を認め合ったりして、読書生活に生かしていこうとしている。	・互いの思いを分かち合ったり、感じ方や考え方を認め合っている。

指導と評価の計画

全 12 時間

次	時	学習内容	評 価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
一	1	<p>課題の設定 (1)</p> <p>○今までに読んできた本の読書経験を交流し合い、本の好きなところを紹介したいという気持ちを高める。</p> <p>・自分の読書の記録を基に好きな本を、題名を中心に紹介する。</p> <p>・教師による「とん こと とん」の好きなところの紹介を聞き、「おはなしボックス」を作って、本の好きなところを紹介しようという学習のめあてをもつ。</p>	○			<p>・今までに読んできた本を思い出し、本の好きなところを紹介することに意欲的に取り組もうとしている。</p>	<p>行動観察</p> <p>発言</p>
	2	<p>情報の収集 (2)</p> <p>○モデル「おはなしボックス」を基に、「とん こと とん」の好きなところ（登場人物の行動や会話）に着目して読む。</p> <p>・自分の好きな場面の登場人物の行動や会話に着目しながら紹介する内容をおさえて読む。</p>		○		<p>・登場人物の行動や会話に着目して想像を広げて読んでいる。</p>	<p>行動観察</p> <p>発言</p>
二	3	<p>○教材文「おおきなかぶ」の好きな場面を紹介する。</p> <p>・教材文の範読を聞き、初読の自分の好きな場面を交流する。</p>			○	<p>・「おおきなかぶ」の好きな場面を紹介している。</p>	<p>行動観察</p> <p>発言</p>
	4	<p>○かぶの種をまくところ、抜くところ、抜けたところの場面の好きなところを紹介する。②</p>		○		<p>・登場人物の行動や会話に着目しながら読み、好きなところを発表している。</p>	<p>発言</p> <p>ワークシート</p>
	5	<p>・かぶに込めたおじいさんの願い、会話を想像し、登場人物やかぶを抜く順番などでおもしろいところ、好きなところを話し合う。</p>			○	<p>・好きなところや思ったことについてまとめている。</p>	<p>発言</p> <p>ワークシート</p>
	6	<p>○教材文「おおきなかぶ」のおはなしボックスにまとめる内容を書く。</p> <p>・「おおきなかぶ」の中で好きなところや思ったことを書く。</p>			○	<p>・今までの読書の記録を基に紹介する絵本を選び、紹介したい場面を見付けている。</p>	<p>行動観察</p>
	7	<p>整理・分析 (2)</p> <p>○自分の好きな本を選ぶ。</p> <p>・並行読書の中から、自分が紹介したい本を選ぶ。</p>	○			<p>・登場人物の行動や会話に着目しながら読み、好きな場面の様子についてまとめている。</p>	<p>おはなしボックスカード (下書き)</p> <p>行動観察</p>
	8	<p>○おはなしボックスカード (下書き) にまとめる。</p> <p>・選んだ本の好きな場面の様子について、登場人物の行動や会話と理由を「おはなしボックス」にまとめる。【本時】</p>			○	<p>・今までの読書の記録を基に紹介する絵本を選び、紹介したい場面を見付けている。</p>	<p>おはなしボックスカード (下書き)</p> <p>行動観察</p>

繰り返しや展開のおもしろい本の並行読書

次	時	学習内容	評価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
	9	○おはなしボックスカード（下書き）を確認する。 ・ペアで本の好きなどころと思ったことを聞き合い、自分の思いが伝わるか確かめる。	繰り返しや展開のおもしろい本の並行読書	○		・下書きを基に好きなどころを話し、自分の思いが伝わるかどうか考えている。	おはなしボックスカード（下書き） 行動観察
	10	まとめ・創造・表現（2） ○「おはなしボックス」を完成する。 ・自分が選んだ本の好きなどころと思ったことが伝わる「おはなしボックス」を作る。		○		・自分が選んだ本の好きなどころと思ったことが伝わるようにまとめている。	発言 ワークシート
	11	○「おはなしボックス」を紹介する。 ・自分が作った「おはなしボックス」を提示しながら、本の好きなどころをクラスで紹介し合う。		○		・好きなどころを登場人物の行動や会話に着目しながら紹介している。	発言 ワークシート
三	12	振り返り（1） 学びのモニタリング ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・本の好きなどころを紹介する活動を通して、伝えたいことをまとめ交流することで、互いの思いを分かち合ったり、感じ方や考え方を認め合ったりして自らの学びを振り返る。	○		・本の好きなどころを紹介する活動を通して、互いの思いを分かち合う楽しさについて考え、自らの学びや学び方を振り返っている。	発言 行動観察 ワークシート	

本時の学習

（1）本時の目標

- 自分の好きな場面の様子を登場人物の行動や会話を基に、想像を広げて読むことができる。

（2）本時の評価規準

- 登場人物の行動や会話に着目しながら読み、好きな場面の様子についてまとめている。

【読む能力】

（3）本時の学習展開（8時間目／全12時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 本時の学習課題を確認する。	◇おおきなかぶのおはなしボックス（登場人物の行動、会話をもとに好きなどころを紹介するところ、すきな場面の絵と思いを書くところ）を想起し、好きな絵本でおはなしボックスカードにまとめることを確認する。 ◇おおきなかぶのおはなしボックスを紹介し合い、学習したことを確かめる。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p>
<p>めあて</p> <p>好きなところとわけを考え、おはなしボックスカードにまとめよう。</p>		
<p>本時のゴールの見通し</p>		
<p>A：好きな場面の様子に強く影響した大事な言葉や文を見付け、登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げながら読んでいます。</p> <p>B：好きな場面の様子を登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げながら読んでいます。</p>		
<p>2 選んだ本をペアで交流する。</p> <p>○好きなところやわけを伝えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そらまめくんが自分のベッドにみんなを招待してみんなでぐっすり眠っているところが好きです。みんなとても幸せそうな顔をして気持ちよさそうに眠っているなあと思いました。 ・ぼくも同じところが好きで、楽しく踊った後で疲れてぐっすり眠っていると思ったよ。 <p>3 交流したことをもとにおはなしボックスカード(下書き)にまとめる。</p> <p>□思考の場の工夫 関連付ける</p> <p>行動や会話と好きな場面への思いを関連付けて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そらまめくんのベッドが見つかって、みんながうれしそうにお祝いのパーティーをするところ。そらまめくんのベッドが見つかってよかったから。 <p>4 本時の学習のまとめをし、振り返りを全体で交流する。</p> <p>○おはなしボックスカード(下書き)にどんなことをまとめましたか。</p>	<p>◇絵本を開いて見せながら、登場人物の行動とわけを話すことができるようにする。</p> <p>◆話すことが難しい児童は、まず紹介したい場面の絵を提示させる。誰が何をしているところかをペアの問いかけで話すことができるようにする。</p> <p>◇登場人物の行動や会話を使って紹介しているかを確認するようにさせる。</p> <p>◇ペアで話したことをもとに、おはなしボックスカード(下書き)にまとめるようにする。</p> <p>◇ワークシートに話型の入ったものを使い、自信をもって発表できるようにする。</p> <p>◆書きにくい児童には、好きなところを話をさせて、文にしていくようにする。</p> <p>◇場面の様子や登場人物の行動や会話からわけを考えおはなしボックスカードにまとめられるようにする。</p> <p>◇ワークシートを基に紹介し、友達の選んだ絵本への思いを共有することができるようになる。</p> <p>◇交流して自分の好きな本のおはなしボックスカードにまとめられたかを振り返らせる。</p>	<p>◎登場人物の行動や会話に着目しながら読み、好きな場面の様子についてまとめている。〔読む能力〕(おはなしボックスカード(下書き)・行動観察)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <p>わたしの好きな本は、「そらまめくんのベッド」です。好きな場面は、そらまめくんとみんなと一緒にベッドに寝ているところです。ふわふわのベッドでぐっすりわたしも眠ってみたいなあと思いました。</p>		

<p>学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力</p>
	<p>◇次時は、おはなしボックスカード(下書き)を確かめることを確認する。</p>	

(4) 板書計画

<p>まとめ すきなところとわけ とうじょうじんぶつ のしたこと いったこと</p>	<p>まごが、いぬをよん できて、かぶをひっぱ るばめん。</p>	<p>② つたえたことをかく ・ わけ ・ うしたところ ・ だれが</p>	<p>① はなしてつたえる。</p>	<p>めあて きいて きいて わたしの だいすきなおはなし すきなばめんとわけをかんがえ、おはなしほつくすかあどにま とめよう。</p>
	<p>おじいさんたちが、ち からをあわせてがんばっ たから。</p>	<p>1ねん1くみ かいた はなこ</p>	<p>おおきなかぶ おじいさんたちが、や つとかぶをぬいたばめ ん。</p>	<p>A B すきなばめん、わけ + じぶんのおもったこと</p>
		<p>すきな ところ</p>	<p>ほんの だいめい</p>	

<参考> 「学びのモニタリング」

<p>海田東小 学びのモニタリング きいて きいて わたしの だいすきなおはなし 「おおきなかぶ」</p>	<p>① すすんではなしボックスにまとめることができ た。 いちねん くみ () とても まあまあ あまり まったく 4 3 2 1</p>	<p>② おはなしボックスにまとめるために、とうじょうじ んぶつがしたことやいったことをみつけてかんがえ ることができた。 とても まあまあ あまり まったく 4 3 2 1</p>	<p>③ べんきょうしてきづいたこと、おもったこと、これか らやってみたいことなどをかきましよう</p>
---	---	---	--